

南信州アルプスフォーラム
全体勉強会・事業報告

【趣 旨】 私共南信州アルプスフォーラムでは、この地域の住民としてまちづくりを主体的に考える、若手市民の会議「南信州次世代会議」を昨年飯田市と設立し、積極的な取り組みが始められております。

そして、本年、2027年の開通を目指して、いよいよリニアの工事が本格的に始まります。今後は、リニア駅の設置に伴い、駅周辺の整備はもとより、広域圏に於ける有機的な連携をどのように考え、地域をどのようにデザインしていくかが、重要な課題と考えます。

その課題について考える為に、下記の講演会を全体勉強会として企画いたしました。新駅と、地域の核としての中心市街地「丘の上」、そして広域的な地域の連携による将来像、地域デザインについて考える絶好の機会になると捉えております。会員及び関係団体の多くの皆様にご聴講いただきたいと思います。

【実施日時】 平成27年3月25日（水） 18時30分～20時

【場 所】 飯田商工会議所 一階 商店街交流ホール

【テーマ】 リニア開通後の地域デザインを考える
— 新駅～中心市街地～広域圏の有機的連携を考える —

【講 師】 小澤一郎 氏

【参加人数】 24名（会員及び関係団体）

【実施内容】 講師 小澤一郎 氏による講演
演題「リニアを踏まえた 地域・都市づくりを考える」
内容 1、国土のグランドデザイン2050
2、国土のグランドデザインを踏まえ、リニア時代の
地域・都市づくりを考える
3、これからの地域・都市づくりの担い手を考える
4、これから地域としてどのように進めたらよいか
ひとつの考え方

【考 察】 ・国土のグランドデザインの話をお聞きする中で地域デザインを考える上で
の基本的な考え方をお話いただいた。
・私たちの地域としてどのように進めたらよいか考え方をお話いただいた。

- ①飯田プロジェクト、南信州広域プロジェクト、伊那地域・三遠南信プロジェクト、東京・名古屋・全国連携プロジェクト これらを並行的に行う。
- ②外からのアイデアやプロジェクト提案も参考にしてみる。
- ③飯田が築き上げてきた「ブランド」に磨きをかける取組み。

「リニア&いいだの広域まちづくりを考える」プロジェクト

平成26年度 事業報告（案）

本年は、事業計画として

- ① リニアとまちづくりを考える郡市民会議の設立のサポート
- ② リニアとまちづくりを考える郡市民会議への一市民としての参画
- ③ まちづくり先進地の視察

を掲げました。

事業計画通りに次世代を担う郡市民による「南信州次世代会議」が立ち上がり、当フォーラムは運営資金を提供する団体として、南信州次世代会議の運営会議にて、「南信州次世代会議」の事業の公益性や有効性について、チェック機能を果たすこととなりました。一方、当フォーラムメンバーの個別プロジェクトへの参画については、南信州次世代会議より求められておらず、見合わせることにしました。

視察については、まちづくり先進地として、三重県の「モクモクファーム」と奈良県の「まほろばキッチン」を視察し、リニア開通時に当地域で農業テーマパークや大規模農産物直売所を事業として行うことができるか、その可能性について視察・検討いたしました。